

中高サイエンス部「プログラミング研修会」を開催しました

8月12日（水）に小型パソコン「IchigoJam」の開発者である株式会社 jig.jp 会長の福野泰介先生を講師としてお招きし、「プログラミング研修会」を開催しました。中高サイエンス部員 33 名が参加しました。

はじめに、中谷財団科学教育振興助成金を活用して購入した IchigoJam を1人1台ずつ作成。抵抗や LED、コンデンサーなどの電子部品を基板にはんだづけをして完成させました。次に、完成した IchigoJam を使用して、LED を点滅させたり、簡単なゲームを作成したりしながら、プログラミングの基礎を学びました。

また、プログラミングコンテストで入賞経験のある部員たちは、小学生や一般の方に分かりやすくプログラミングを教えることも意識しながら、各種センサーやモーターの制御方法を学んだり、「ドローンの制御プログラム」や「高志中サイエンス部のホームページ」など、これまでに作成したものを先生に説明したりしました。

最後に、中学3年の井部翔哉君と黒川恵太君が、中高サイエンス部の合同研究「缶サット（模擬人工衛星）の挙動制御と構造的工夫」を説明し、IchigoJam や各種センサー等の活用方法について、先生にアドバイスを伺いました。

参加した部員からは、「初めてのはんだづけはドキドキしました。はんだが上手につかなかったり、LED を逆方向に取り付けてしまったり大変でしたが、自分で組み立てたパソコンを使ってプログラミングに挑戦できてとても楽しかったです。」「缶サットの落下運動の解析をしたり目標地点に落下させたりするために、使用すべきセンサーやプログラミングの方法など、様々なアドバイスをいただくことが出来ました。早速、研究に取り入れていきたいです。」などの感想がありました。今後の活動につながる貴重な経験となりました。



福野泰介先生による講義



小型パソコン「IchigoJam」を作成



IchigoJam を使用してプログラミング



アドバイスを聞く様子